

1. 事業期間

2018年 6月1日～2019年5月31日

2. 基本方針

くまもと未来創造基金は、社会の課題解決や地域の活性化などの公益活動を支援したい人々と、公益活動を推進する団体等の双方の想いを具現し、資源の仲介を行い、社会を構成するすべての主体が公益を支える仕組みを構築することにより、持続可能で豊かな地域社会の創造と発展に資することを目的として活動します。そのため、熊本県内で活動している市民活動に関わる課題や問題を集約し、解決に向けたセミナーや情報・意見交換ができる場を提供するとともに、活動団体のネットワークを構築し、市民活動をサポートします。社会を構成するすべての主体が公益を支える仕組みの構築、活動団体に仲介・提供するために必要な資源の確保を行います。

また、各地で活動している市民活動団体をはじめ企業・行政・県民等に対して、情報の発信や活動・組織運営に関するノウハウなどの提供を行い、基金への理解と支援者の確保のための活動を行います。

2018年度は、引き続き熊本地震支援活動を行うとともに、県内・全国に向けて活動の趣旨や内容についての普及啓発活動を行い、公益を支える仕組みの構築基金の創設・そのために必要な資源の確保を行います。

また同時に関係機関と連携して、ファンディング勉強会等学びの場を提供し、団体の課題解決を全面的にバックアップする体制づくりに努めます。さらに、相談・コンサルティング機能を整え、サポート強化を図ります。

特に重点取り組みを以下の3点におきます。

- ① 基金創設の理解と支援体制の構築・必要な資源の確保
- ② 熊本地震支援活動団体のニーズ・課題調査、サポート体制づくり
- ③ 学びと交流事業の確立

3. 事業

- (1) 公益活動を行う団体に仲介・提供するために、公益活動に必要な資金等の資源を募り、確保する事業

●事業名：1592（ひごくに）チャレンジ寄付募集

【事業概要】熊本地震から2年。熊本でたくさんの方が、被災者支援や復興支援活動を展開してきました。持続可能な活動にしていくために、引き続き、活動をサポートしていくために、活動に賛同いただける方を募り、熊本元気応援「1592チャレンジ寄付」として登録・ご寄付をお願いしていきます。賛同者1592人

【内容】一口応援団メニュー（様々な寄付メニューを紹介し、寄付者の思いを大事にした寄付）

【賛同者】1,592人（メッセージを同時にお願いしてHP上で公開一賛同者）

【目標額】300万（2019年5月まで）

●事業名：財団アワード

【事業概要】熊本地震後、活発に活動始めた市民活動や災害支援活動から高まった寄付に関する県民の意識をさらに高め、今後迎える課題社会の課題解決に向けて、県民一人ひとりが自分たちで解決する仕組み作りやお金の使い方自分たちの未来を作っていくことに気づいてもらうこと、サポートをする団体として設立した「くまもと未来創造基金」について広く知ってもらうことで、応援する賛同者を募り、共に未来を作る仲間を増やすことを目的として開催します。

【内容】みんなでつくる未来—欲しい未来を熊本へ—

1. 助成団体活動報告
2. 交流会：「みんなでつくる未来—欲しい未来を熊本へ—」
3. 「1592寄付チャレンジ」
熊本暮らし人基金—発表
アンケート記入・閉会挨拶

【実施日時】平成30年12月16日（日）14：00～17：00

【実施場所】熊本城彩苑

【対象者】NPO・行政関係者・企業・地域金融機関・関心ある方

【参加目標】80名

【参加費】無料

【賛同者目標】80名

(2) 公益活動を行う団体に対し、その経営に必要な資源を助成・提供する事業

●事業名：熊本地震災害支援活動助成金「オルビスくまもと未来基金」

【概要】熊本地震災害支援活動団体に活動支援金として助成

【実施期間】第3次：2018年10月20日—11月20日募集（助成金募集要項に基づく）

11月審査（財団にて設置した第3者機関で審査）

11月（ヒアリング・面接）

12月発表 贈呈式（2019年1月—2019年12月の活動分）

【対象】熊本で活動している支援活動団体（主体は熊本に事務所がある団体）

くまもと未来創造基金で活動サポートを行う。

【収入】寄付金による基金目標500万（予定）

●事業名：熊本暮らし人基金

【概要】熊本の課題解決に向けた活動を行っている団体を助成

【実施期間】2019年募集

【対象】熊本で活動している団体

【収入】100万（予定） 【支出】80万

●事業名：奨学金制度構築に向けた準備会

【概要】 経済的理由で就学困難高校生に対する奨学金給付制度構築に向けて、検討を行います。

(3) 公益活動を行う団体及び資源提供者に対するコンサルティング事業

●事業：基盤強化事業

【事業概要】助成金採択団体を中心に、持続可能な活動を行うために必要な団体の課題把握や戦略計画立て自立した運営ができるようセミナーや相談会を行います。また日本ファンドレイジング協会や認定・准認定ファンドレイザーと連携して、ファンドレイジングに関する体系的学び・ファンドレイジング・資金調達力の向上を目的に勉強会を開催します。また同時に個別相談会を開催します。

【目標】

- ① 学びの場の提供
- ② 団体ごとの課題把握・戦略的計画を立てる。

《開催計画》

基盤強化セミナー（予定）

| 時期 | 会場 | 時間等 | 内容 | 備考 |
|-----|----|-------------|-----------|-----|
| 4月 | | 13:00～17:00 | 基盤強化セミナー① | 30人 |
| 6月 | | 13:00～17:00 | 基盤強化セミナー② | 30人 |
| 9月 | | 13:00～17:00 | 基盤強化セミナー③ | 30人 |
| 11月 | | 14:00～16:00 | 交流会 | 20人 |

【収入】1,200,000 【支出】1,020,000【収支差引き】180,000

●事業：ファンドレイジング勉強会・交流サロン

【事業概要】日本ファンドレイジング協会や認定・准認定ファンドレイザーと連携して、ファンドレイジングに関する体系的学び・ファンドレイジング・資金調達力の向上を目的に勉強会を開催します。また同時に個別相談会や交流サロンを開催し、ネットワークづくりやマッチングの場、ニーズや課題の把握の場とします。

【目標】①学びの場の提供 ②「くまもと未来基金」賛同者を集める（③資金調達の専門知識を持った熊本のファンドレイザーを増やす。 ④地域の様々な主体との交流サロンを開催します。

2018年度：勉強会参加者人数50人・交流会サロン参加人数60人

① ファンドレイジング勉強会

| 時期 | 会場 | 時間等 | 内容 | 備考 |
|-----|----|-------------|-------------|-----|
| 10月 | | 14:00~16:00 | 地域の課題解決 | 20人 |
| 3月 | | 14:00~16:00 | ファンドレイジング研修 | 30人 |

【収入】70,000円 【支出】67,000円 【収支差し引き】3,000円

②交流サロン

| 時期 | 会場 | 時間等 | 内容 | 備考 |
|-----------|---------|-------|---------------------------|------|
| 8・11・2・5月 | 事務所・その他 | 2時間程度 | 1592 寄付チャレンジプログラムについて・交流会 | 各15人 |

【収入】60,000円 【支出】40,000円 【収支差し引き】20,000円

(5) 公益活動に係る調査研究、情報収集及び情報発信に関する事業

【事業】 情報発信及び広報・普及啓発

【内容】 市民活動の一番にニーズである助成金情報や企業・行政からの情報等様々な情報を活動市民団体に提供するとともに、支援したい市民・県民・企業等に活動団体の情報や社会的課題について発信していきます。

【対象者】 市民活動団体・個人・企業・行政等

【配信】 HP

メルマガ

FB等SNS

4. 理事会の開催

年5回開催（6月、8月、11月、2月、5月）

6月—今年度事業計画・予算状況

8月—進捗状況

11月—進捗状況・次年度事業計画

2月—次年度計画（最終）

5月—今年度事業報告・決算状況 次年度計画・予算

5. 評議員会開催

・2019年6月